

令和2年度事業報告

自 令和 2年4月 1日

至 令和 3年3月31日

事業概況

東日本大震災から節目となる10年が経過しました。今年の4月には、復興支援道路として整備が進められている東北中央自動車道「相馬福島道路」が全線開通するなどインフラの整備が進み、着実に復興に向かっていきます。しかしながら、一方では未だに3万人近くの方が県外での避難生活をしているという現実があります。一日も早く震災前の生活が戻ることを願っています。

さて、バス事業を取り巻く環境は新型コロナウイルス感染症の影響により、かつて無いほど厳しい状況となっています。国内で初めて感染者が確認されてから1年以上経過しましたが、緊急事態の再宣言が発出され、また、「まん延防止等重点措置」の適用地域の拡大が続くなど、未だ収束の兆しは見えない状況となっています。

県内の乗合バス事業は、自家用車の普及や少子化等の影響により厳しい状況が続いています。更に、深刻な運転者不足により、住民生活に不可欠な生活路線の維持も困難になるおそれが生じていますが、行政の取り組みと運行事業者の努力、工夫により何とか維持をしている状況です。このような状況にある中で、今回の新型コロナウイルス感染対策のための外出自粛の要請等による利用客の減少により、経営状況は一段と厳しくなっています。

貸切バスを取り巻く環境についても、震災前の水準には戻ってはいないものの、徐々に回復してきた教育旅行、また、県内への入込数が、ほぼ震災前の水準に戻った観光客ですが、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、イベント等の中止による貸切需要の壊滅的な減少により非常に厳しい経営状況となっています。

新型コロナウイルス感染症の影響による経営悪化により、事業の継続や雇用維持が課題となる中、福島県バス協会は国、自治体等の関係機関に対し、バス業界の窮状を訴え、バス事業への支援要請を行いました。国、並びに多くの自治体より支援制度を創設して頂きましたことに改めて感謝申し上げます。

バス事業を取り巻く環境は、新型コロナウイルス感染症の影響により、これまで経験をしたことが無いほど悪化しましたが、当協会は旅客運送事業にとって最も重要なことは輸送の安全確保であるとの信念のもと、また会員の新型コロナウイルス感染防止に取り組むつつ、この1年間、関係行政機関のご指導並びに会員各社のご理解を頂きながらバス事業への信頼の獲得に努めてまいりましたので、その概要を報告いたします。

1. 乗合バス事業

(1) 多くの自治体において「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づく

「地域公共交通網形成計画」(※)を計画しているが、福島県バス協会および会員事業者も、その協議の場である地域公共交通会議に委員として参加し、公共交通の果たすべき役割についての議論を行った。避難指示区域の解除の拡大に伴う帰還住民の足の確保のための公共交通網整備の観点からも同会議への参画は益々重要なものになっていくと思われる。

(※) 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律が令和2年6月に一部改正され、「地域公共交通網形成計画」は「地域公共交通計画」となる。

(2) エコ定期券について

エコ定期券(土・日・祝日適用)について、バス利用者へPRするためポスターを作製するとともに、バス車内及び施設等へ掲示しバスの利用拡大に努めた。

(3) 乗合バス事業の輸送実績について

2020年(令和2年1月～令和2年12月)輸送実績

	輸送人員 (人)	運送収入 (千円)	実車1Km当り 運送収入 (円)	実働車1日1車当り		
				走行キロ (Km)	輸送人員 (人)	運送収入 (円)
2019年	19,412,561	8,454,432	224.5	187.2	80.4	35,025
2020年	13,655,837	4,995,109	156.8	169.6	59.8	21,872
前年比 (%)	70.3	59.1	69.8	90.6	74.4	62.4

2. 貸切バス事業

(1) 貸切バス事業の輸送実績について

2020年(令和2年1月～令和2年12月)輸送実績

	実働率 (%)	輸送人員 (人)	運送収入 (千円)	実働車1日1車当り			運行回数 1回当り 実車キロ(Km)
				走行キロ (Km)	輸送人員 (人)	運送収入 (円)	
2019年	37.2	5,158,112	9,758,883	177.8	39.6	74,897	98.9
2020年	23.6	2,527,824	4,983,388	135.2	31.8	62,701	62.9
前年比 (%)	-	49.0	51.1	76.0	80.3	83.7	63.6

3. 関係機関への要望関係

(1) 令和3年度県予算編成に対する要望

R2.9.3 自由民主党福島県議会議員会
 福島県議会県民連合議員会
 公明党福島県議会議員団

(2) 新型コロナウイルス感染関連の支援に対する要望

R2.4.16 国会議員(根本匠議員、森まさこ議員)
 R2.5.8 福島県知事
 R2.5.12 自由民主党福島県支部連合会(福島県への働きかけの要請)
 R2.5.18 福島県知事
 R2.5.20 福島市長

- R2. 6.24 会津若松市長
- R2. 6.26 郡山市長
- R2. 6.26 自由民主党福島県支部連合会
- R2. 6.30 いわき市長
- R3. 3.29 福島県知事

(3) 修学旅行等学校行事実施への要望活動

- R2.10. 2 福島県教育庁
- R2.10.20 福島県教育庁

4. 安全輸送及び環境対策

- (1) 全国交通安全運動及び年末年始輸送安全総点検の実施について、全会員へ周知し、その推進を図るとともに実施結果を関係機関に報告した。
- (2) 「テロ対策の徹底」についての周知を通じて、日本バス協会が策定した「バスジャック統一対応マニュアル」による対応徹底を図った。
- (3) 飲酒運転防止週間において、「飲酒運転防止対策マニュアル」の徹底について全会員へ周知し、飲酒運転防止に努めた。
- (4) 自動車点検整備推進運動（9月・10月）とエコドライブ強化月間（11月）の「バスの環境対策強化期間」に会員の積極的な参加を呼びかけ、本運動の推進に努めた。
- (5) 交通事故や車内事故を撲滅し、利用者の安全を確保するため、関係行政機関等と連携協力し、「事業用自動車総合安全プラン2020」に基づき各種安全対策を推進するとともに、事故削減等の取組みに努めた。
- (6) 新型コロナウイルス感染予防対策として、バスの換気システムとバス車内の消毒等の感染対策について会員の車両を使用してPRイベントを福島市と共催し、バスの安全性の広報に努めた。

5. ホームページでの情報提供

ホームページにより、当協会の事業概要の他、会員の営業内容等を最新のものに更新し、情報提供を行った。

6. 運輸事業振興助成交付金事業

- (1) 共同施設整備事業として、郡山駅西口バスターミナル案内所の照明機器・給湯器の交換など修繕を行った。
施設整備に対する助成事業として、停留所標識の新設及び既存施設の上屋補修の他、行先表示機・運賃表示機の導入、更に公衆無線LANサービス取付等の通信設備の導入等に対し助成した。
- (2) バス輸送サービス改善事業として、接客サービス研修会を実施した他、バス路線図、旅客サービス資材としてウェットティッシュ・不織布マスク等を作製・配布した。
その他、公益社団法人日本バス協会のバス輸送改善推進事業「人と環境にやさしいバス普及事業」及び「地方路線バス及び貸切バス助成事業」に準じて、バス車両導入に対し助成した。
- (3) 安全運行対策事業として、運転者の適性診断・運行管理者等講習・適性診断活用講座・運輸安全マネジメント講習等の安全運行に係る各種講習等経費の他、睡眠時無呼吸症候群診断・脳ドック等の健康に起因する事故防止に関する経費、運転記録証明書・貸切バス事業者安全性評価認定制度申請手数料、並びにアルコール検知器・

ドライブレコーダー(デジタルタコグラフを含む)等の安全運行機器の導入経費等に対して助成した。

その他、救急法講習会の実施、のぼり旗や車内事故防止ポスター等の配付により事故防止啓発に努めた。

7. バスの日関係

(1) 地元紙(福島民報・福島民友)にバスの日及び会員等のPRのために全1ページの広告を掲載しバスの利用促進に努めた。

(2) 「バスに一言」のアンケートを公募し、抽選により70名の方に3,000円分のICカードまたはバス回数券を贈呈した。

また、アンケートの集計結果を全会員へ周知し、バス利用者へのサービス向上に努めた。

8. 運行管理者試験

(1) 運行管理者試験制度の受験申請書の販売、試験会場の確保、試験の立会等を実施した。

(2) 運行管理者試験対策勉強会により、合格率向上に努めた。

(3) 試験実施結果

	地区別	申請者数	受験者数	合格者数	合格率	勉強会参加者 合格率	備考
第1回 R2.8.23	福島県	192	176	41	23.3%	14.7%	ビッグバレットふくしま
	東北	889	822	236	28.7%	-	
	全国	10,814	9,714	3,026	31.2%	-	
第2回 R3.3.7	福島県	138	129	70	54.3%	69.8%	ホテル華の湯
	東北	636	587	275	46.8%	-	
	全国	8,260	7,610	3,604	47.4%	-	

9. 会員数(令和3年3月31日現在)

一般乗合・貸切旅客自動車運送事業者(みなし4条事業者を含む) 13事業者
 一般貸切旅客自動車運送事業者 36事業者
 計 49事業者

車両数 乗合 927両 貸切 996両 特定 28両 合計 1,951両

10. 表彰関係

(1) 東北運輸局長表彰(令和2年11月1日)

従事者 1名(新常磐交通1名)

運転者 1名(新常磐交通1名)

(2) 福島運輸支局長表彰(令和2年11月1日)

従事者 1名(新常磐交通1名)

運転者 3名(新常磐交通2名、福島観光自動車1名)

(3) 公益社団法人日本バス協会会長表彰(令和2年12月1日)

優良バス運転者表彰 運転者 2名(新常磐交通2名)

専従役員永年勤続者表彰 職員 1名(福島県バス協会1名)